

「第6回 土木設計関係技術発表会」 発表概要書

発表内容	事例名（業務名）	太田川矢口第一流量観測外業務
	業務発注者名	中国地方整備局 太田川河川国道事務所
発表者	所属協会名	広島県測量設計業協会
	所属会社	(株) 荒谷建設コンサルタント
	発表者名	清木智成

発表事例の概要

＜図表も含め1000字(40字×25行)程度以内＞

業務の内容

河川管理にとって必要な基礎的データの収集及び流域管理を目的とし、流量観測を行うとともに、太田川及び小瀬川流域と広島西部山系直轄砂防事業区域内の水文観測所において、平成30年に観測した水位・雨量・地下水データを整理した業務である。

高評価の要因

平成30年7月6日豪雨に伴い、高水流量観測、内水調査、洪水痕跡調査を作業員一丸となって迅速・柔軟に対応し、調査精度を向上させる取り組みならびに、仕様書に無い成果品の工夫をした点を評価されたと推測する。

業務遂行上、苦勞した点

- ①高水流量観測は多くの人員を必要とするため、出水が予想された際の人員確保ならびに、都合が悪い作業員の代わりを探したりと事前の段取りが苦勞した。
- ②流量観測中に浸水に伴う内水調査の指示があり、当初予定していなかった作業のため、作業員の確保、現地調査図面の準備の段取りを急遽行う必要があり苦勞した。
- ③業務の性質上、悪天候に行う作業が多く作業員の安全確保に神経を使った。



高水流量観測状況



内水調査状況



洪水痕跡調査状況

業務遂行上、工夫した点

観測技術の維持・流観未経験者への教育が課題で、その対応策として作業方法をマニュアル化したうえで作業員への教育ならびに、出水時ミーティング、廃棄予定の浮子を使用した高水観測予行演習を行い観測精度を向上させる取り組みを行った。



事前教育状況



出水時ミーティング状況



高水観測予行演習状況

* 概要書記載上の留意事項

- ①業務の内容、技術的特徴等を簡潔に記載
- ②表彰に至る高評価の要因等を簡潔に記載
- ③業務遂行上、苦勞した点や工夫した点等を簡潔に記載

* 発表資料作成上の留意事項

- ①パワーポイントにて25枚程度以内に簡潔にまとめる
- ②上記の概要書記載上の留意事項①～③に留意して作成